

名前	原産国	生態系・ヒトへの影響	写真
ヒアリ	南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来のアリや、他の小型節足動物を駆逐、捕食するなどの影響</li> <li>・毒針を持ち、刺されると激痛やアレルギー反応を引き起こす</li> </ul>	
アカカミアリ	米国南部～中米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来のアリや、他の小型節足動物を駆逐、捕食するなどの影響</li> <li>・毒針を持ち、刺されると激痛やアレルギー反応を引き起こす</li> </ul>	
カミツキガメ	北米～中米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型に成長し、さまざまな生物を捕食するため在来種に影響</li> <li>・捕らえられた時の咬みつき等の被害が想定され、大型個体に咬まれた場合は大怪我が想定される</li> </ul>	
クビアカツヤカミキリ	中国, モンゴル, 朝鮮半島, 台湾, ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラ, ウメ, カキ, モモ, ポプラなどの樹木に寄生して弱らせたり, 枯死の原因となる</li> </ul>	
ツマアカスズメバチ	アフガニスタンからインド、ブータン、中国等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来のアリや、他の小型節足動物を駆逐、捕食するなどの影響</li> <li>・海外では主に養蜂業に被害報告</li> <li>・巣を刺激されると毒針で反撃し、海外では死者も</li> </ul>	
アライグマ	北アメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べるものが哺乳類から魚類・鳥類・両生類・爬虫類・昆虫類、野菜・果実・穀類と幅広く、在来種の捕食が報告されている。</li> <li>・凶暴な個体も存在する。また、手先が器用で脱走しやすい。</li> </ul>	
セアカゴケグモ	オーストラリア、ニュージーランド、南太平洋諸国等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有毒で、咬まれると疼くような痛み、熱っぽさなどをきたし、時には頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがある。</li> </ul>	

ハイイロゴケ グモ	中南米、アフリカの 熱帯地域	・有毒で、咬まれると疼くような痛み、 熱っぽさなどをきたし、時には頭痛、 筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間 継続することがある。	 <p>左が雌、右が雄。 腹部が丸い。</p> <p>縁取りのある 赤褐色の斑紋</p>
オオキンケイ ギク	米国（ミシガン州～ フロリダ州、ニュー メキシコ州）	・繁殖力が非常に高く、在来種のニ ッチを奪い、生態系のかく乱を招く	 <p>提供 財団法人 自然環境研究センター</p>
ブラジルチド メグサ	南米（欧州、アフリ カ大陸に定着）	・強い繁殖力で河川水面を覆い、在来 水草を駆逐する ・水中の酸素溶存量を減少させ、水中 生物に影響	

具体的な手続きや野外で見つけた外来生物等に係る問い合わせ

九州地方環境事務所 <http://kyushu.env.go.jp/>

写真出典

- ・クビアカツヤカミキリ

日本花の会 <http://www.hananokai.or.jp/sakura/sakuramihonen-topic/sakuramihonen-topic-170616/>

- ・ゴケグモ 2種

九州地方環境事務所 [http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m\\_2\\_8.html](http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m_2_8.html)

- ・上記以外

日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html>